

FDのための情報技術研究講習会開催結果の概要

1. 開催日時：令和2年2月26日(水)～27日(木)
2. 開催場所：追手門学院大学
3. 参加者：34名(24大学) 前年度：78名(46大学、1短期大学)
4. 講習会の目標
どの分野でも必要となるICT(情報通信技術)の活用方法および教育改善手法の習得を目的として、教員と学生・学生間の対話を支援するツール、教室内と教室外での学修を支援するツール、動画・音声教材の製作、PBLにICTを活用する方法などについて、認識の共有を目指した。

5. 実施結果

- (1) 新型コロナウイルスの影響を受け、参加申込者が40名と激減し、さらに当日6名のキャンセルがあった。感染対策として、大学側によるアルコール消毒の手配、本協会としてマスクを着用した説明、参加者間の座席位置を配慮し、二日目の終了時には体調不良者は見られなかった。
- (2) 参加教員全員を対象とする全体会では、「分野横断フォーラム型授業の取組み」として、「法政策等フォーラム型授業」と「多職種連携フォーラム型PBL授業」の取組みを紹介し、「学修プラットフォームに期待される機能の紹介」、「ICT活用と著作権」の説明を行った。参加された教員からは、「異なる専門領域で行われている教育の取組みを知ることができ興味深かった」、「SDGsやフィールドワークなど次年度のPBL授業に取り入れてみたい」、「学生に考えさせる取組みを授業に取り入れたい」、「著作権は良い復習になった」などの感想が寄せられた。
- (3) ワークショップの達成度を以下に掲載する。

ワークショップ名	達成できた	見通しがたった	達成できなかった
① Google Forms・Classroom 2コマ	4割	6割	
② LMS 1コマ	6割	4割	
③ 動画教材 2コマ	6割	3割	1割(1人)
④ ALマネジメント 1コマ	2割	3割	5割(3人)
⑤ ルーブリック 1コマ	7割	3割	
⑥ ポートフォリオ 1コマ	6割	3割	1割(1人)
⑦ ICTツール 1コマ	7割	3割	

- (4) 以下に参加者からの特徴的な感想と運営委員からの意見の一部を紹介する。
 - ① **Google Forms・Classroom**：「実際に授業でも使ってみたい」、「ちょっとしたヒントを頂けた」、「人数の多い授業では授業の準備や運営が大変と思った」など、授業を双方向性のあるものに改善していこうとする積極的な意欲が感じられ、今後は模擬授業なども含めて工夫する必要がある。
 - ② **LMS**：「一方向的に伝える授業なのでLMSを取り入れたいと思う」、「地域貢献プロジェクトにどのように使えば良いかヒントになった」、「使用方法の理解が深まった」など、ロールプレイングの部分を追加して授業での活用を意識させる工夫も必要かと思う。
 - ③ **動画教材**：「苦手意識がなくなり前向きにビデオ作成ができそう」、「操作方法を動画で理解させることを考えていたが出来そうな気がしてきた」、「iPad、PC両方で動画の作成方法が分かったので今後練習したい」とする感想の他に、「全体的なことがよくわからなかった」との意見もあった。
 - ④ **ALマネジメント**：「時間的に全部できなかったのが残念だったが、他の先生と討論できて良かった」、「アクティブ・ラーニングを実施してこなかったが、学生に議論させてみようと思った」など熱心に討議が行われたが、討議で扱ったテーマが難しいこともあり、グループ討議にICTを活用して意見を整理し、新たな知見を見出すなどアクティブ・ラーニングのマネジメントについて十分な議論まで到達できなかった感じがする。
 - ⑤ **ルーブリック**：「持参したルーブリックの見直しができた」、「授業にすぐ使える内容だった」、「体系的にルーブリックを学べた」など。
 - ⑥ **ポートフォリオ**：「使い方次第で可能性が広がると思う」、「PBL評価のひとつにポートフォリオ作成の目途が立った」、「専門ゼミなら活用できそうな印象を持った」など、今後は、参考例やサンプルデータ等を増やすなどの工夫が必要であると感じた。
 - ⑦ **ICTツール**：「知らないツールを学習できた」、「自分でやってみたことで使うイメージができた」、「アプリを使った具体的な演習を試みたかった」など、授業でツールを利用する方向性は理解されたと思う。今後は、希望の多いツールに絞ってワークショップを組み立てても良いと感じた。